



マ・メールのひろば

MaMere no Hiroba



公園の桜は葉桜へと姿をかえ、とても気持ちの良い季節です。そして、なんといっても、虫たちが活動をはじめ、子どもたちの心をくすぐります。

てんとうむしぐみは、ゆったりと過ごしています。時にはカートに揺られながら散歩をしたり、園内では先生と一緒に探索をしたりして遊んでいます。

ちょうちやくみの新入の子は次第に絵本やおもちゃを自分から手にして遊び始めます。散歩へ行けば、笑顔で先生のもとに走っていく姿があります。「楽しい!!」と思える場面が、1日に1つでもあることが、子どもたちへの安心感へと繋がっていくのですね。進級の子は、やりたい遊びをしたり、先生に甘えたり自分で気持ちのバランスをとっているようです。

みつばちぐみはアリ探しから始まり、観察、そして捕まえる子まで。ちょっと怖いから見るだけにする、そんな距離感もちょうどよくて、日に日に子どもの興味が増していくようです。さらに石の裏にだんごむしを見つけた時の表情はまさに子どもたちの心が動かされた瞬間でした。これからまた、来るかもしれない虫ブームに備えて、観察ケースや虫かごを用意しなければ!!

とんぼぐみではブリオやお絵描き、工作など個々で遊ぶ時間を大事にしてきました。気の合う友だちとは一緒に遊んだりご飯を食べたりする姿もみられます。友だちどうしが繋がっていき、自分たちが生活の主体であることを意識するということ大切にしていきます。

少人数での保育が続いています。今だからできること、そして、子どもたちの最善の利益を守っていけるように考えていきたいと思えます。一刻も早く終息することを願うばかりです。

マ・メール保育園 主任 松原健太

《 園長コラム 》

コロナウイルス感染防止の“自粛”。この未曾有の事態に誰もが戸惑っています。小さな子どもたちには状況はわからなくても、大人たちの不安が伝わって、わがママが目立っているのではないかな。それだけでなく“いやだ!”“自分で!”の難しい時期の子どもたち。生活のこと、兄弟姉妹がいれば学校の勉強のこと、心配ごとが絶えないと思いますが、なんとかココを元気に乗り越えたいですね。ココは、大人の態度の見せどころ?!といっても無理せず、弱いところも、強いところも出していいのでは。子どもはちゃんとわかってくれる気がします。

それでも、悩んでしまうときは、園でも相談を受け付けています。電話でも受け付けてるので、遠慮なく。

園では換気や手洗いの徹底に心がけ、子どもたちが感染するかもしれないリスクを少しでも下げる努力をしています。

ポカポカのお天気が続く、散歩するにも、如意申公園で遊ぶのにもいい季節なのに、人と会わないように、家を出ないようにしなければならないなんて、子どもたちのことを思うとやりきれない思いです。天気がよければ、毎日如意申公園に行っています。戸外ではリスクも少ないと言われています。合流して遊ぶことも可能です。

多少片づけが大変でも、新聞紙を破ってあそぶ、セロテープやのりをふんだんにつかって空き箱であそぶ、ままごとセットがなければ、おもいっきり鍋やフライパンを使って遊んでみるなど、日常の何でもないものを子どもたちはおもちゃにしてくれます。工夫次第で時間を過ごせることがあるかも!!

マ・メール保育園 園長 安井素子

「おにぎりをつくる」

高山なおみ ブロンズ新社

子どもたちが自分でお米から炊飯器でごはんを炊いて自分でおにぎりをにぎる絵本。裏表紙に“おなかあさんもおとうさんも外で働いていて、家にだれもいないとき、はらぺこのおなかには、おにぎりは「いのち玉」です。”と書かれている。お腹空いたなあといふとコンビニに走って、添加物の多いおにぎりを食べることを思ったら、なんて素敵な本だろうと思います。家にいる時間が長いとき、子どもと一緒になにかを作ろうと思ったらまだ小さい子どもたちだけだと、おにぎりならできそう。サランラップを使わず、水をつけたり、塩をつけたり、自分で加減できるって大事。是非、うちでもつくってみてください。ごはんつぶだらけも経験です!



5月行事予定

●27(水) 誕生日会・避難訓練・身体測定

※登園自粛期間が5月31日となりました。5月の園開放、パパプーは中止します。年少児は5月には、お弁当をもって遠足の遠足も考えていたのですが、今年度は年間計画からも外しました。幼児組特別行事をどこかで入れていきたいと思っています!

5がつ おたんじょうびのおともだち

🐝 みつばち 13日 ゆづきさん 3さい

🐝 みつばち 14日 れんさん 3さい

🦋 ちょうちよ 21日 いとあさん 2さい